

長野県塩尻志学館高等学校 平成30年度第1回学校評議員連絡会 記録

日時 平成30年7月24日(火) 午後3時00分から午後5時00分

場所 塩尻志学館高等学校桔梗会館(同窓会館)、大講義室、各HR教室

出席者 学校評議員 塩尻市商工会議所副会頭・塩尻市産業振興事業部長・塩尻市教育委員・
P T A副会長・広陵中学校長・松本大学教職センター長

学校職員 校長・教頭・事務長・総合学科主任・教務主任・進路指導主事・生徒指導主事
生徒会主任

- 1 開会
- 2 校長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 学校より説明
- 5 学校評議員会からの質問・意見・要望等

(評議員) 笑顔いっぱいの歓迎会の姿(生徒会資料の写真)が素晴らしい。シオジリ学の労力や生徒の感想をお聞きしたい。

- 生徒からは「普段通学している壁の向こう側が見えた」「アットホームな職場を観る事が出来た」等積極的な感想が多かった。

(評議員) これから長野知事選挙、塩尻市長選挙等あるが、主権者教育はどのようにおこなっているのか？

- 現代社会等の授業でも行っているが、2学年の学年末の3月の特別編成授業を利用して全員対象に実施している。

(評議員) キャリア教育について小学校・中学校にも発信してほしい。高大接続改革で英語試験の変革、小学校の英語の必修化等変化があるが、中学校ではあまり変革がない。高校における英語教育の方法の変化や高校に進学にあたって中学校で英語の授業にどう対応すればよいか教えてほしい。

- 1年生から自分の考えを英語で表現することを重視している。教科書の内容をどれだけ表現に活用できるかを考えて授業を行っている。中学校までにまずは自分の言葉で自分の考えを表現できるようになってほしい。

(評議員) シオジリ学の実践は非常にありがたい。もっと参加する事業所を増やしてほしい。学校教育計画の評価は出来る範囲で分かりやすく数値化してほしい。

- シオジリ学に参加していただく企業についてはこれから打診する予定。新たな事業を考えている。評価の数値化については検討していく。

(評議員) 本校の生徒はよく挨拶をしてくれている。高校生が顔を見て挨拶できるようになれば問題行動も改善すると思う。

(評議員) 子供が部活動を引退して受験に向けて勉強するようになった。先生方の指導のおかげである。

- 部活動についてはスポーツ庁の指針などで土日のうち1日を休日にする事や一日の練習時間の制限など出てきている。今後、調整をしていく予定である。

(評議員) 志学館では医療看護系に進学する生徒が多い。数学を履修しなければならない生徒が多いと思うが、系列の中でどのようなシステムで授業選択をしているのか？

- 北信越の総合学科を設置している学校の中で本校を含めた長野県の3校だけが系列の縛りがなく自由に選択できる学校である。その中で個々の生徒の進路に合わせたモデルプランを提示し、それを参考にしながら生徒が授業選択をしている。

(評議員) 文化祭でのワイン販売やワインカステラの販売など非常に人気があった。県外からも購入に来ていたり、ブランドとしては素晴らしいものがあると思う。

- ワインカステラは商業の授業の模擬会社の企画として誕生したものであり、各種行事等で販売実習をしている。

(評議員) 先ほど表現力の話題があったが、総合研究等の発表会を見ると表現力が豊かで素晴らしい。語彙力をつければもっと表現力が上がると思う。

(評議員) 「志学の時間」の取り組みは素晴らしい。新聞のコラムを授業に取り入れることは今注目されている。どのように行っているのか？

●志学の時間は毎日5分間SHR前に読む時間をとっている。全員の先生が順番でA4版のプリントをそれぞれの考えを活かして作成し、全校生徒分を印刷してもらっている。また、感想などを書いてもらい、それに担当者がコメントを記載して返却している。今年で12年目になる取り組みであり、教員の負担が大きくならないようにしながら今後も継続していく予定である。

(評議員) シオジリ学について、塩尻市以外からきている生徒について身近ではないと感ずることもあると思うが、どのようにしているのか？

●まず、職業について知ってもらう事が大切であると考えている。生徒自身が知らない職業が多く存在していることを知ってほしい。シオジリ学を学んだことで、今度は自分の住んでいる地域にどのような職業があり、どのようなことをしているのかを調べてもらうように指導している。

6 校長挨拶 (まとめ)

7 閉会